

別添（議事録様式）

令和4年度志木市立宗岡小学校 第2回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和4年7月7日（木） 10：30～11：30

2 場 所 志木市立宗岡小学校 多目的室

3 出席者

| | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 津田 美奈 | 若杉 一輝 | 大熊 克範 | 西川 和男 |
| 鈴木 恵美 | 田村 成彦 | 田中 直樹 | 小木曾 久美子 |

【事務局 吉澤 めぐみ 記録 吉澤 めぐみ】（計 9 名）

4 協議内容

(1) 学校経営方針についての経過報告【校長あいさつ含む】

1学期は、運動会、修学旅行も無事に行うことができた。本年度は校内研修本発表を11月24日に予定している。研究テーマ「自分の思いや考えを生き生きと表現する児童の育成」に取り組んでいる。

「あいさつ」にも重点的に取り組んでおり、地域の方から気持ちが良いあいさつができる児童が増えてきていると褒めてもらうことも増えた。もっと良くなるようにぜひ、肯定的な声掛けをしていただきたい。

1学期も大きな事故もなく教育活動を進めることができた。今後とも地域の皆様からのご意見をいただいて教育活動を進めていく。いつでも来校していただき、ご意見を頂戴したい。

(2) 令和4年度 宗二中地区CS連絡協議会 報告

3校が集まっていた協議会をもう一度掘り起こさないと進まない。学期に一度くらい集まれるとよい。

【田村】定期的に開催した方がよい。CSとはなんぞやという人が増えている。CSと小中一貫の違いや児童や地域に情報発信する必要がある。学校側から配信しても保護者が受け取っていない。三校合同の避難訓練も中学校が主力になっているが、家庭との連携が必要。小中一貫に関しても、令和7年から始まるならもっと家庭に周知をしなければならない。そうでないと家庭が何をしなければならないかもわからない。宗小が宗二中、宗三小と場所が離れているが、離れている学校が何をすることもわからない。先生によって考えが違うのを合わせるのも大変なことだ。

【会長】学ばなければならないことは学習指導要領で決まっている。教育課程が小学校1年生から中学校で重なっているところがある。それは調整するのは学校の仕事。CSは地域の中での連携について取り組む。小中一貫については検討委員会があるので、そこから情報がおりてくる。地域の連携についてはコロナの感染状況との兼ね合いもある。

【田村】懇談会の時に小中一貫、CSについて情報を共有できているか。

【会長】以前は教育委員会が来て説明をしてくれていた。パンフレットを学校内に貼ったりしたらよい。今後周知していくためには三校足なみを揃えることが必要。

【若杉】小中一貫は教職員にとってプラスか。

- 【田村】昔から幼保小の一貫も大切とされていて、幼保小中でもよいと思う。まずは地元の小中が中心になるのでは。
- 【若杉】3校の先生は連絡を取りやすいのか。
- 【会長】中学校の先生が小学校に来て授業もできるようになった。
- 【若杉】行政から予算をとればもっと充実できるのでは。
- 【田村】もっと人員を加配をしなければならない。
- 【会長】志木二中と志木二小で算数、音楽の教員の行き来があった。宗二中に関してはCSのモデルケースであった。今年から、市内の中学校区全てでCS設置となった。
- 【田村】少人数、TTで入っていけるか。
- 【若杉】中学校の部活の顧問の先生が小学校に来たら違和感がある。
- 【会長】中学校の先生と小学校の先生は言葉づかいをひとつとってもすごくちがう。先生の雰囲気が違う。以前は中学校の授業を見に行っていた。加配がつけば、小中で授業を見に行ったり、TTで入ったりできる。
- 【若杉】地域の中に教員免許を持っている人がいないか。
- 【田村】先生が増えるといい。
- 【会長】人材不足。担任は誰でもよいというわけにはいかない。一クラスを任せられる人材を探すのが大変。
- 【田村】教職員の勤務時間を減らせというが、授業の準備なども大変。だから、これ以上小中一貫やCSを始めるなどするのはもっと大変になるのではないか。
- 【会長】基本は子供たちのためであることを確認したい。

(3) 2学期の予定

資料参照

(4) コミュニティ・スクールフォーラムについて

学校で行えるとよい。